

# 第5学年 ふじの実タイム学習指導案

日時 平成22年10月1日(金) 5校時

児童 男6名 女6名 計12名

指導者 佐々木由雅

## 1 活動テーマ 『みんなで挑戦！米作り』 ～江刺金札米ができるまで～

### 2 活動テーマの目標

○地域の主産業である農業（稲作）について理解を深め、働く人の願いや思いに気付くことができる。

### 3 活動テーマについて

#### (1) 児童について

児童は、お互いのよさを認め合い協力しながら、課題解決に向けて意欲的に学習に取り組むことができる。また、調べたり分かったりしたことをもとに、自分なりの考えをもととする。しかし、少しずつ減ってきてはいるが、自分の考えを発表するとき、自信をもって発表できない児童もいる。

児童の家庭では農業を営んでいる家庭が多く、特に稲作については身近に感じている。しかし、その仕事の内容について、田植えや稲刈りは知っていても、その他の作業について理解したり、実際に作業をしたりしている児童は少ない。また、兼業農家だったり、主たる従事者が祖父母だったりするため、稲作が地域の中心産業であると理解している児童も少ない。

5月からの米作り体験を通して、米作りに対する地域の人や家族の苦労・喜びなどを少しずつ感じてきている。

#### (2) 題材について

米は言うまでもなく日本人の主食であり、様々な環境や文化に大きな影響を及ぼしてきている。さらに、食糧生産や食料の確保、食の安全性など今日の問題も多く含んでいる。農業に携わっている家庭も多いため、児童の食糧生産にかかわっているという点で、これらの問題点への関心も高いと思われる。

児童は、社会科の学習で『稲作にはげむ人々』について学習した。この学習を発展させ、「米」についてより詳しく学ぶことは、今日私たちを取り巻く食や環境、外国との関係などを身近なものとして考える契機となると思われる。また、実際に稲作を体験することで、食物に対する感謝の気持ちや働くことの大切さや尊さ、米作りをする人の願いや思いなどを感じ取ることができる。そして、米作りを振り返る場を工夫することによって、お世話になった地域の人や家族に感謝し、米を大切にしていこうとする思いを高め、たくさんの人が米作りをしている地域への愛着を深められる題材である。

#### (3) 指導について

本題材は、『米作り』『米作りへの思い』『施設見学』『江刺金札米ができるまで』の3次構成になっている。

第1次の『米作り』では、実際に田植えから収穫までを体験する。体験を通して、稲作の苦労や難しさを実感し、収穫の喜びを味わうことができる。また、働くことの大切さや尊さを感じ取らせたい。

第2次の『米作りへの思い』では、実際に米作りをしていく上で分からないことや疑問に思ったことを文献やインターネットなどで調べたり地域の人に聞いたりして、米作りへの願いや思いについて自分なりの考えをもたせていきたい。

第3次の『江刺金札米ができるまで』では、カントリーエレベーターなどの施設を見学することを通して、収穫後の品質管理の大切さや出荷の仕組みを知り、収穫後の米の行方や他地域との繋がりを理解する。地域の米がブランド米として出荷されていることに触れさせたい。また、金札米の由来や歴史を調べることによって先人の苦労や思い、それを引き継いでいる地域の人たちの米作りへの思いを感じ取らせていきたい。調べたことの中から、一人一人がさらに学習したいことを課題として調べ学習を進めていく。そして、地域の中心産業である農業（稲作）について理解を深め、働く人の思いに気付かせると共に、地域のよさにも気付かせようとする。

(4) キャリア教育との関わりについて

キャリア教育に関わる5学年のテーマは、『自分の将来に目を向けよう』である。今回の『江刺金札米ができるまで』では、キャリア発達に関わる能力のうち、主に次の能力を育成できると考える。

【コミュニケーション能力】

○米作りの対する農家の人の願いや思いを自分なりの根拠をもって話すことができる。

【職業理解能力】

○稲作の体験を通して勤労の意義や働く人の思いが分かる。

【計画実行能力】

○自分が調べたいことをはっきりつかみ、その内容にあった計画を立てることができる。

4 題材の構想（40時間）

<b>第1次 『米作り』（8）</b> ・田植え ・観察 ・稲刈り ・脱穀 ・収穫祭	
<p><b>第2次 『米作りへの思い』（10）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 稲の育て方を調べる。</li> <li>・ 疑問に思ったことを調べる。</li> <li>・ まとめ</li> </ul>	<p><b>第3次 『江刺金札米ができるまで』（22）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設見学（カントリーエレベーター、精米センターなど）</li> <li>・ 金札米の由来や歴史について調べる。</li> <li>・ えさし郷土文化館見学</li> <li>・ まとめ</li> </ul>

◎は重点

時間	主な学習活動と内容	キャリア教育との関わり							
		かかわり、 つたえる		しらべ きづく		ゆめや きぼうをもつ		かんがえ きめる	
		自他	コミ	情報	職業	役割	計画	選択	課題
1	○米の食味ランキングとは何か知り、地域の米はどんな評価をされているか知る。		○	◎					
2	○金札米について調べる計画を立てる。 ・由来や歴史、施設見学、生産者の思い等	○					◎		

3	○「金札米」と呼ばれる米は、どんな米なのかを調べる。 ・カントリーエレベーターや精米センターを見学する。		◎	○	○			
4								
5	○「金札米」の由来や歴史について調べる。 ・郷土歴史館を見学し、金札米の由来や歴史を調べる。		◎	○	○			
6								
7	○調べたことをまとめ、発表する。	○	◎	○				
8								
9	○見学して分かったことやもっと調べてみたいことは何か考え、個人の課題を決め、調べる。 ・「金札米」の由来や歴史、先人の苦勞について調べる。 ・地域の人や生産にかかわる人たちから話を聞き、米作りに対する考えや思いを調べる。 ・「金札米」を買っている人について、インターネットなどを使って調べる。			○	○	○	○	◎
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18	○調べたことをまとめる。	○	◎	○				
19								
20	○まとめたことを発表する。		◎	○				
21								
22	○調べたことをもとに、地域の人たちが持っている米作りへの思いを考える。	○	○		◎			
本時								

## 5 本時の指導

### (1) 目標

「金札米」について調べたり聞いたりしたことから、「金札米」を作った先人の苦勞や思いと地域の人々の思いを比べ、働く人の思いに気付かせると共に、地域よさに気付く。

### (2) 評価規準

評価規準	具体的評価規準		手立て
	十分満足できる	概ね満足できる	
◆「金札米」について調べたことや地域の人から聞いたことを話し合い、米作りに対する農家の人の思いに気付く。 (発言・学習シート)	調べたことや話し合ったことを根拠にして、先人や現代の農家の人の米作りに対する思いや消費者に対する気持ち等を考えることができる。	調べたことや話し合ったことを根拠にして、米作りに対する農家の人の思いに気付くことができる。	調べたことや話し合ったことの中から、「なぜ、そのようなことをするのか」を考えるようにさせる。

(3) キャリア教育の視点

◇「金札米」を作った先人の苦労や思いを、自分なりの根拠をもって考えたり話したりすることができる。 【自他の理解能力・コミュニケーション能力】

◇調べたことや話し合ったことをもとにして、先人や地域の人々の米作りに対する思いに気付くことができる。 【職業理解能力】

(4) 展開 (22 / 22時)

段階	学習内容と活動	指導上の留意点	備考・評価 (◇キャリア)
つかむ  5分	<p>1 前時を想起する。</p> <p>2 課題の確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>調べたり聞いたりしたことから、「金札米」を作った先人の苦労や思いと地域の人々の思いを比べよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時までの学習の内容と本時の学習の流れを確認する。</li> </ul>	<p>学習シート (本時分、前時分)</p>
ふかめる  25分	<p>3 前時に発表したことをもとに「金札米」を作った先人や現在生産している地域の人たちは、どんな米を作ろうとしているのか確認する。</p> <p>4 確認したことから「金札米」を作った先人や地域の人たちは、どんな思いをもって米作りをしているか考える。</p> <p>5 先人の思いと地域の人々の思いを比べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先人                     <ul style="list-style-type: none"> <li>寒さに強い米を作りたい。</li> <li>たくさん米を収穫したい。</li> <li>おいしい米を作りたい。</li> </ul> </li> <li>地域の人たち                     <ul style="list-style-type: none"> <li>おいしい米を作りたい。</li> <li>日本一の米を作りたい。</li> <li>たくさん米を収穫したい。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表されたことの中から、どんな米を作ろうとしているのかに絞って考えさせる。</li> <li>なぜ、そう思うのか、話し合ったことの中から考えさせる。</li> <li>*個人→ペア→全体というふうに話し合いの形態を変え、考えを深める。</li> <li>自分が考えた思いと比べながら聞くようにさせる。</li> <li>消費者の気持ちも紹介し、考える手立てにさせる。</li> <li>共通の思いはないか発表させる</li> <li>共通の思いが出ない場合は、教室の側面の掲示物を見て、それぞれの思いを確認し、考えさせる。</li> </ul>	<p>◇「金札米」を作った先人の苦労や思いを、自分なりの根拠をもって考えたり話したりすることができる。 【自他の理解能力・コミュニケーション能力】 (学習シート・発表)</p> <p>◇調べたことや話し合ったことをもとにして、先人や地域の人々の米作りに対する思いに気付くことができる。 【職業理解能力】 (学習シート・発表)</p>

まとめ	6 本題材の振り返りをする。 ・学習の感想（気付き・米作りに対する思い）を書き、発表する。	・話し合ったことや調べて分かったことなどから、具体的な言葉を入れて、学習の感想を書くようにさせる。	
15分	7 題材終了の確認をする。 ・本時で第3次の学習が終了することを確認する。	・藤里地域には、誇れる産業があることを理解させる。	

(5) 板書計画

調べたり聞いたりしたことから、「金札米」を作った先人の苦労や思いと地域の人々の思いを比べよう。

【「金札米」を作った人たち】

- ・寒さに強い米を作りたい。
- ・たくさん米を収穫したい。

⇒

おい  
し  
い  
・  
日  
本  
一  
の  
米

⇐

【地域の人たち】

- ・おいしい
- ・日本一の米

**地域（藤里）のほこり**

